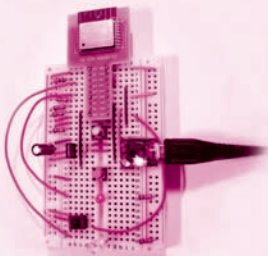


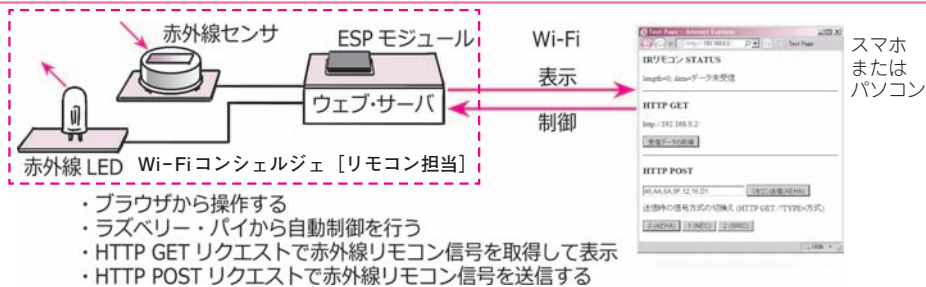
スピード実習10



「御希望の家電を操縦いたします!」
Wi-Fiコンシェルジュ
[リモコン担当]

example19_ir_rc

ブラウザから赤外線リモコン制御するサンプル・プログラム



特徴

テレビやエアコン、オーディオ、照明機器など、赤外線リモコンで制御可能な家電機器をESPモジュールから赤外線リモコン信号を送信することで、IoT制御機器として使用できます。ここでは、スピード実習3のWi-Fiリモコン赤外線レシーバで作成したハードウェアを使用し、赤外線リモコン信号の送受信を行います

実行例

ウェブ・ブラウザを使って、ESPモジュール上で



図1 Wi-Fiコンシェルジュ [リモコン担当] のスマホまたはパソコンの画面

動作するウェブ・サーバへアクセスしたときのようすを図1に示します

動作

「受信データの取得」をクリックすると、本機が受信した信号を表示します

最後に受信した赤外線リモコン信号コードをHTTP GETリクエストで取得し、ウェブ・ブラウザ上に表示できます

赤外線リモコン信号を送信するには、送信ビット長と16進数のデータをカンマ区切りでテキスト・ボックスに入力し、「リモコン送信」ボタンをクリックします。HTTP POSTリクエストで赤外線リモコン信号のデータがESPモジュールに転送され、本器の赤外線LEDから赤外線リモコン信号を送信します

国内で使用されている赤外線リモコンのフォーマットには、家製協AEHA方式、NEC方式、SIRC方式の3種類があり、リモコン送信時は家製協AEHA方式で送信されます。制御したい家電機器がNEC方式やSIRC方式であった場合は、図1の「送信時の信号方式の切換え」のボタンをクリックして方式を切り換えます。「リモコン送信(AEHA)」ボタンの括弧内の文字が「NEC」や「SIRC」に変わったことを確認してから、リモコン送信をクリックすると、NEC方式やSIRC方式で送信することができます。制御する家電機器がどの方式がわからない場合は、それぞれの方式を切り替えて試してみてください

イントロダクション

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20